

宇都宮ロータリークラブ会報

- 宇都宮ロータリークラブ 会長 善林隆充・幹事 矢治和之
テーマ「Fighting for the future」～皆で頑張ろう～
- 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」
- 国際ロータリー第 2550 地区 2020～2021 年度ガバナー 森本 敬三
例会日/火曜日 12:30 会場/宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12
事務所/宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル 2F TEL 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

令和 3 年 4 月 13 日 2020～2021 年度 第 3350 回

会員数 102 名 出席者数 60 名 出席率 59 %

■ 来訪者紹介（関口快太郎 親睦活動委員会 委員長）

佐藤 栄一 様（宇都宮市 市長）

星 貴 様

■ 会長挨拶（善林隆充 会長）

佐藤市長とは去年コロナの影響でお会いする機会がなくなってしまったため、2年ぶりにお会いできました。また、昨晚海外からマスターズで松山英樹 選手が日本人初の優勝というビッグニュースが届きました。よく言われるオーガスタの女神が松山選手に微笑んだことで、13 番ホールでバーディーを取ることができたのではないかとも思いました。とても素晴らしいと思いました。

今回佐藤市長にはスーパースマートシティ宇都宮市、貧困問題について、私が進めたいと思っている SDGs などについて語っていただきたいと思っております。まだまだ発展途上の町でもある宇都宮市を盛り上げていってほしいと思いますし、今日のお話を起点として私たちの活動に活かしていきたいと思っております。

■ 快出席祝い報告（矢嶋昭司 出席委員会 会員）

会員の快出席祝

■ 幹事報告（矢治和之 幹事）

退会ご挨拶（赤塚茂 会員／菊野利幸 会員）

■ 親睦活動委員会報告（関口快太郎 委員長）

4 月 10 日に親睦ゴルフ大会が開催されました。

また 5 月 5 日に 10 クラブ親睦ゴルフ大会が予定されています。

■ ニコニコボックス委員会報告（荒井規雄 委員長）

会員の本人誕生祝・配偶者誕生祝・

結婚記念日祝・快出席祝・その他の報告



■ 卓話者紹介（黒崎めぐみ プログラム委員長）

宇都宮 RC 名誉会員 佐藤 栄一（宇都宮市長）

【卓話：未来都市 うつのみや ～スーパースマートシティ～】

●宇都宮市における新型コロナウイルス感染症の状況・対応について

現在までに本市で新型コロナウイルス感染症に感染した方は約 1700 名（本市で検査を受け判明した方の人数）PCR 検査体制も最大 1200 件／日、これは十分な体制です。ただし変異株については国の方の協力が必要です。

また、緊急経済対策として特別資金（実質無利子の低利なもの）には申請が約 150 億円相当、そして国の「持続化給付金」の対象外となる事業を支援する助成金を支給しており、さらに「3密」を回避できるシステムの導入費用支援、ビジネス PCR 等検査支援を実施しております。

令和 3 年度はワクチン接種を実施予定であり、効果が表れた際には例えばプレミアム付き食事券のような経済対策をしっかりと実施していきたいと考えています。

●人口減少社会（少子・高齢化の進展）

NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）の形成。都市機能や人口を集積した拠点を形成（コンパクト化）し、公共交通を整備（ネットワーク化）する必要があります。高齢化社会に対応するには車に依存する町ではいけません。公共交通を整備することで高齢者は車を運転する必要がない、より安全な町を作ることができます。現在宇都宮市の交通はバス路線が中心（特に東西の交通）になっていますが、鉄道のような大量移送が可能な公共交通を東西に通すことでバス路線をより効率的に動かすことができると考えています。そのための鍵となるのが LRT です。

この LRT では全国に先駆けて交通 IC カードを導入します。Suica など全国の IC カードが利用可能で、宇都宮市民には地域連携 IC カード「Totra」（トトラ）に宇都宮市民独自の有益な制度を盛り込むことを予定しています。

NCC のために不可欠なイベントも企画しています。（ジャパンカップサイクルロードレース、FIBA3x3 ワールドツアーなど）

●スーパースマートシティの実現に向けて

「SDGs」を基本にまちづくりを展開していきます。自動運転の試験・地域新電力・5G などの通信インフラ化を推進する計画が進められています。その実証実験が大谷にて行われています。（自動運転や顔認証システムを用いた実験など）これによって、宇都宮市の観光拠点である大谷地域において来訪者がストレスなく楽しんでいただける環境の構築を目指しています。

また、市と民間が協力して新電力会社を立ち上げ、LRT の動力を 100%担うなど再生エネルギーでまちを動かしていきたいと思っています。

●貧困に係る宇都宮市の対策

約 8 人に 1 人が経済的、また約 3 人に 1 人が生活習慣などに乱れがある「関係性の貧困」状態という現状にあり、「関係性貧困」→「経済的貧困」という傾向があります。これを解消するため、「子どもの貧困対策プロジェクト」を推進しています。また宇都宮ロータリークラブの皆様には、奉仕の精神でこれからもご協力いただきたいと思います。

（編集 会報委員会：檜物 隆之 会員）